

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2004-199691(P2004-199691A)

【公開日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-027

【出願番号】特願2003-419028(P2003-419028)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 7/00 3 0 0 F

A 6 1 B 5/00 G

A 6 1 B 6/00 3 6 0 Z

G 0 6 F 17/60 1 2 6 G

G 0 6 F 17/60 1 2 6 Q

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月13日(2006.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2以上の読み取り者のそれぞれにより与えられる画像データ集合(52)の2以上の読み取り内容を統合する工程であって、前記2以上の読み取り内容の間に1以上の不一致又は一致が存在している、統合する工程と、

前記1以上の不一致又は一致を含んでいる統合されたデータ集合(82)を形成する工程とを備えた画像データ集合の2以上の読み取り内容を照合する方法。

【請求項2】

前記1以上の不一致の解決のために照合者に対して前記統合されたデータ集合(88)を提供する工程(90)をさらに含んでいる請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記2以上の読み取り者のそれぞれは、1以上の自動式アルゴリズムを含んでいる、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記不一致は、検出不一致及び分類不一致の少なくとも一方を含んでいる、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記一致は、検出一致及び分類一致の少なくとも一方を含んでいる、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

イメージヤ(12)と、
該イメージヤ(12)を動作させるように構成されているシステム制御サーキットリ(16)と、

前記イメージヤ(12)により取得される画像データ集合(52)を入手するように構成されているデータ取得サーキットリ(18)と、

前記システム制御サーキットリ(16)及び下記データ処理サーキットリ(20)の少なくとも一方と相互作用するように構成されており、操作者が、統合されたデータ集合(82)内に表示されている1以上の不一致又は一致を観察して、前記1以上の不一致を解決することを可能にするようにさらに構成されている操作者インタフェイス(22)と、2以上の読み取り者のそれぞれにより与えられる前記画像データ集合(52)の2以上の読み取り内容を統合して、該2以上の読み取り内容の間に前記1以上の不一致又は一致を含んでいる前記統合されたデータ集合(82)を形成するように構成されているデータ処理サーキットリ(20)とを備えた画像解析システム(10)。

【請求項7】

前記2以上の読み取り者のそれぞれは、1以上の自動式アルゴリズムを含んでいる、請求項6に記載の画像解析システム(10)。

【請求項8】

前記不一致は、検出不一致及び分類不一致の少なくとも一方を含んでいる、請求項6に記載の画像解析システム(10)。

【請求項9】

前記一致は、検出一致及び分類一致の少なくとも一方を含んでいる、請求項6に記載の画像解析システム(10)。

【請求項10】

前記データ処理サーキットリ(20)は、前記1以上の読み取り内容が一致している1以上の特徴をマスクするようにさらに構成されている、請求項6に記載の画像解析システム(10)。